

鶴保大臣のトルコ出張の結果について

平成 28 年 9 月

1. 日程等

9 月 7 日（水）～10 日（土）、トルコ共和国アンカラを訪問。ユルドゥルム首相、アルスラン運輸海事通信大臣、オズル科学産業技術大臣等と面談（JAXA の山浦理事、日本航空工業会等が随行）。

2. 概要

(1) 出張目的

近々トルコサット 5 A / 5 B についての調達先が決定されるタイミングを踏まえつつ、宇宙庁の設立が計画されるなど、宇宙開発利用活動を積極的に進めようとしているトルコとの宇宙分野での関係強化（総理親書も携行）

(2) 結果概要

①ユルドゥルム首相（5 月末の首相就任時まで運輸海事通信大臣）。

これまでの我が方の人材育成等の協力は多としつつ、今後、人材育成等の点で日本側に一層の努力を求めたい旨の発言

②アルスラン運輸海事通信大臣

これまでの日本側の協力を評価しつつ、協力のスピードが十分でないとして、人材育成面で一層の協力強化を求める発言あり。（なお、今回の大臣訪問に併せて、国際宇宙ステーションの日本の実験モジュール「きぼう」からのトルコ製小型衛星の放出等を定めた JAXA と運輸海事通信省との覚書に署名）

③オズル科学産業技術大臣

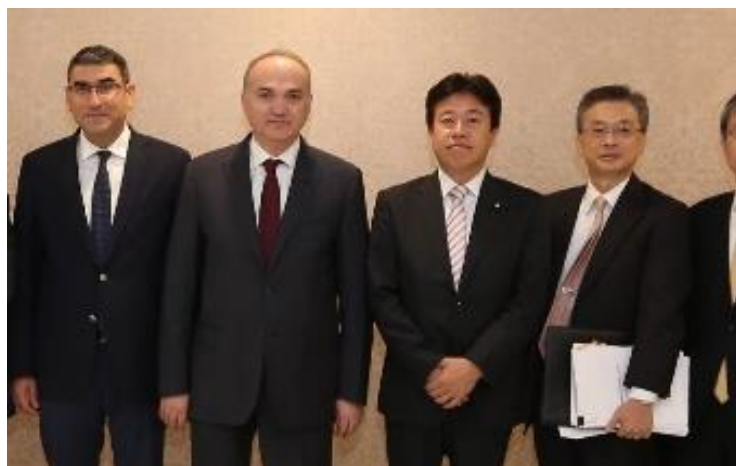
宇宙分野でのこれまでの協力に対して謝意が示されるとともに、一層の技術移転を進めるためとして、ワーキンググループ立ち上げ等について提案あり。



ユルドゥルム首相表敬訪問



アルスラン運輸海事通信大臣・日トルコ宇宙協力会議



オズル科学産業技術大臣



カヴァクルオール日トルコ議連会長（爆撃を受けた議会にて）